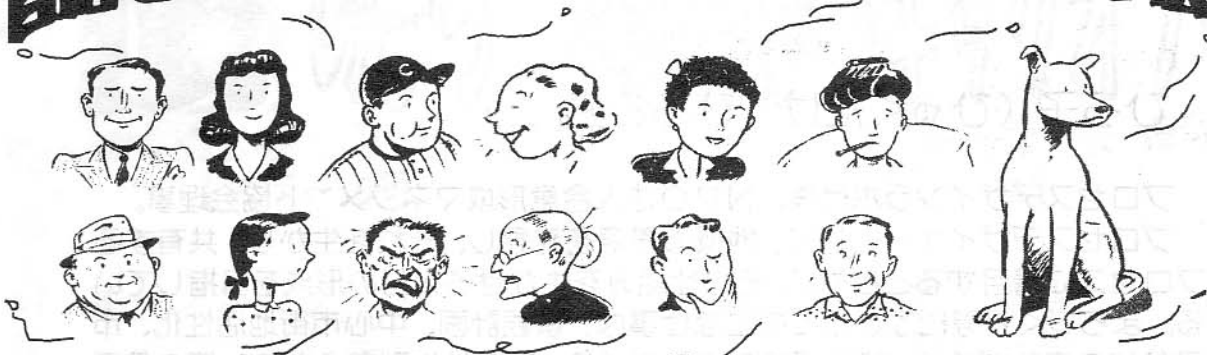


第4回 まちづくりシンポジウム

「誰そよ、よりよい事業！ 学ぼう、師の手法！」



日時：平成16年2月28日（土） 午後1時30分～4時（予定）
 場所：越谷市中央市民会館 4階 13～16会議室

● プログラム ●

開 会（会長あいさつ）

第1部 13地区「平成15年度実施事業」の発表

	アドバイザー	1番	2番	3番	4番
第1グループ	百武ひろ子 氏	川柳	荻島	大相模	大袋
第2グループ	松岡 宏 氏	出羽	北越谷	桜井	
～ 休 憩（10分） ～					
第3グループ	百武ひろ子 氏	増林	越ヶ谷	蒲生	
第4グループ	松岡 宏 氏	南越谷	新方	大沢	

◎各地区の発表時間は5分です。

◎3分経過時と5分終了時にベルが鳴ります。

◎各グループごとに、意見交換とアドバイザーからのアドバイスがあります。

第2部 地区まちづくり成果のまとめ

1) 全体での意見交換

2) アドバイザー（専門家）からの総評

◎全体を通して、アドバイザーからの感想と今後の活動に向けてのアドバイスがあります。

閉 会（副会長あいさつ）

平成16年2月28日

南越谷地区平成15年度まちづくり推進事業について

南越谷地区コミュニティ推進協議会
防災部会長 白井俊市

南越谷地区コミュニティ推進協議会は、本年度まちづくり推進事業として地区防災情報マップの作成事業に取り組みました。このマップは、地区内住民の防災意識の高揚、非常時の避難マニュアルとしての活用を目的としたもので、作成のための具体的な作業は防災部会が担当しました。

平成6年2月に発足した南越谷地区コミ協は、真っ先に防災部会を設けて防災活動を開始しました。平成7年度以来、毎年、地区自治会連合会と連携して地区総合防災訓練を実施し、本年3月に9回目を迎えるという歴史を有しています。防災活動を通じて地域コミュニティの醸成を図ろうという理念があったからです。地区内の24自治会には自主防災組織の立ち上げを要請するとともに、各自治会での防災活動の情報を共有するため、自主防災組織との情報交換会を不定期ながら数回開催しています。平成7年の阪神淡路大震災の発生する前年には、地区防災マップを既に作成しています。本年度に作成した防災マップは、そのときのマップがベースとなり、またその経験が大いに活かされたと考えています。

本年度の防災マップ作成に向けて防災部会では、どのようなマップが望ましいのか、部会員それぞれの意見を出し合うところからスタートしました。まず、防災マップの目的、配布対象、部数、マップの大きさなど、作る側と利用する側の双方の考え方を整理しました。

その結果、できるだけ家庭に掲示してもらえ、利用しやすいマップであるべきとの基本方針を確認したうえで、大きさはカラー片面印刷A2版、掲載する情報は最低限必要なものだけとし、文字もできるだけ大きくすることを決定しました。また、各家庭への配布方法は、自治会を通じて配布することにしました。自治会の口添えで多くの家庭で掲示してもらうことを期待したからです。作成部数は、地区内の自治会加入世帯が約9,500世帯なので10,000部としました。

次に作業は、マップの収録範囲、縮尺、背景地図（基図）を決め、必要な防災施設・情報の選定を行いました。そして次に、原稿となる地図に、施設や情報を具体的に記入していききました。作業の進行にあわせ、9月に各自治会長宛にアンケートをお願いし、各自治会の集会所、防災倉庫、一時避難場所、自治会内の公園の位置等について調査しました。また、越谷市の交通防災課にもさまざまな角度からアドバイスをいただきました。

防災マップの作成は昨年5月に始まり、本年1月までかかりました。その間防災部会は9回開催し、また、地図への落とし込み作業や、実際に出かけて行って施設の名称や位置の確認など、会議以外でも部会員が手分けして作業を担当しました。

防災マップの各戸配布は3月1日を予定していますので、マップを利用する側の反応はまだ確認できませんが、家族や地域で防災について話し合い、万一の災害の備えとして利用していただくことを願っています。

防災部会員からは、マップ作成に携わった結果、地区内24自治会のそれぞれの位置や集会所の場所、一時避難場所等が理解できたし、作業を通じて防災活動の必要性が改めて認識されたとの声も聞かれました。これからも地区コミ協の活動の一つに防災を掲げ、本年度に作成した防災マップを活用し、より高い次元での防災活動を通じて地域コミュニティづくりに取り組んでいきたいと私は考えております。

平成15年度 南越谷地区まちづくり推進事業

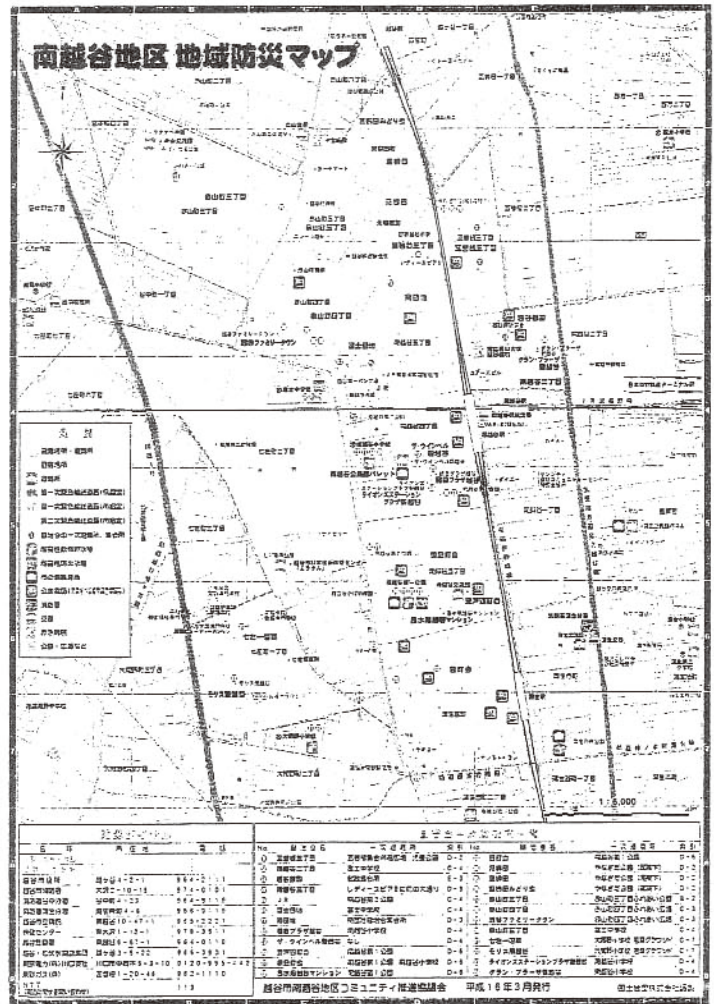
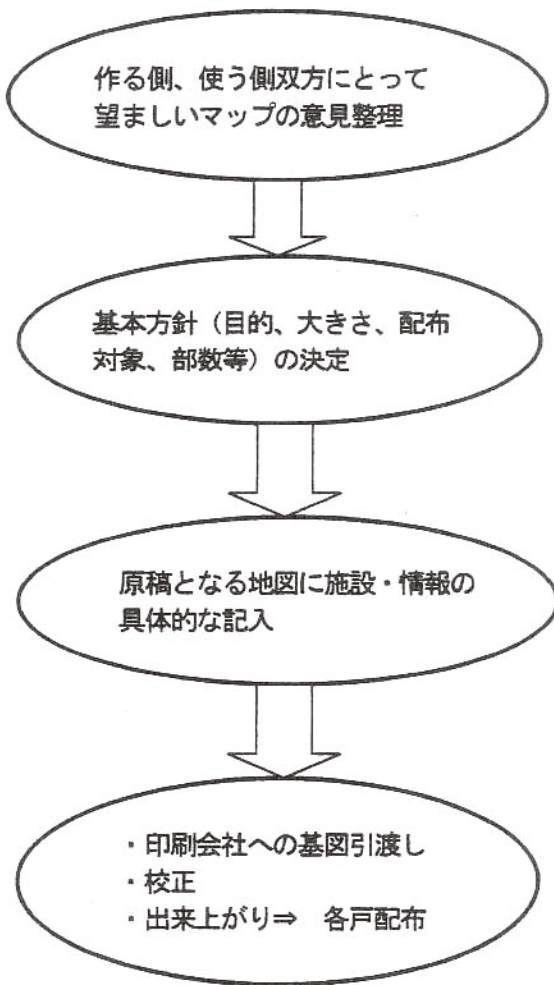
事業名：地区防災情報マップ

● 事業の目的 住民の防災意識の高揚と非常時の避難マニュアルとしての活用

● 事業の実施背景

- ・地区コミ協発足時（平成6年2月）から防災部会を設け防災活動を開始
- ・地区総合防災訓練を実施して本年度で9回目
- ・平成6年度には地区防災マップを作成・配布

● 事業の実施経過



● 事業の成果と今後の展望

- ・防災マップは3月1日に各戸配布の予定なので、マップ利用者の反応は確認できていないが、3月7日に実施する地区総合防災訓練との相乗効果によって、家庭や地域において防災について話し合い、万一の備えとして活用いただくことを期待。
- ・防災マップ作成に携わった防災部会員からは、各自治会の位置や一時避難場所などが理解でき、改めて防災活動の必要性が認識されたとの声が聞かれた。
- ・防災マップの作成・配布を契機として、まだ自主防災組織化がなされていない自治会に防災情報交換会等を通じて組織化を促し、災害時における相互支援体制の構築など、災害時の対応を意識した防災活動を展開していきたい。